

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 児童発達支援 マザーズ城東

保護者等数(児童数)21 回収数 19 割合 90.4 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	2	0	0		体を動かす活動では、スペースの広い放デイのプレイルームに移動する、などの対応を今後も続ける。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1	0	1		コンプライアンス委員会を設置しており、人員配置を含め、今後も法令遵守にのっとり運営に努める。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	3	0	1		2階のテナントであるため、階段の上り下りが生じる。「保護者と一緒に上り下りをする」ことを児童と約束したり、見送りの際は降りる様子を見守ったりして安全に配慮している。冬場は滑り止めマットを設置する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	1	0	0		毎日の清掃・消毒、定期的な換気を、今後も欠かさず行う。
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	16	1	0	2		児発管が適切な手順で支援計画を作成している。送迎時の会話や、Bridge、ブログにて、今後は、ニーズと実際の療育内容の対応について分かりやすく保護者に周知するよう努める。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	0	1	2		計画作成時に児発管が一覧表を確認して項目を選択し、その項目が妥当かを教室長が確認している。今後はより具体的で明確な目標を設定できるよう、全職員での担当者会議をより密に行う。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	1	0	2		支援計画を全職員に共有した上で支援にあたっている。送迎時の会話や、Bridge、ブログにて、今後は、支援計画と実際の療育内容の対応について、分かりやすく保護者に周知するよう努める。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	16	1	0	2		振り返りを複数の職員で行い、毎回改善を重ねている。保護者目線では、一件にしている活動もあるため、送迎時の会話や、Bridge、ブログにて、各活動の目標の違いなどを明確に示す。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	4	1	3		地域の園に今後は積極的に働きかけていきたい。
保護者への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	1	0	0		今後も契約時に児発管が丁寧な説明に努める。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	17	2	0	0		今後も児発管がガイドラインを提示して丁寧な説明に努める。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	10	3	1	3		茶話会を実施しているが、それを「家族支援プログラム」と認識していない方がいると思われる。名称を工夫するとともに、より多くの保護者にご参加いただけるよう、内容の充実、集客に努める。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 児童発達支援 マザーズ城東

保護者等数(児童数)21 回収数 19 割合 90.4 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15	1	1	0		送迎時は全職員が保護者対応にあたり、利用日以外の児童の様子について傾聴する。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2	0	1		児発管によるモニタリング以外でも、気軽に相談できる雰囲気づくりに努め、保護者の希望を積極的に募る。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	5	0	0		茶話会を実施しているが、それを「保護者会」と認識していない方がいると思われる。名称を工夫するとともに、より多くの保護者にご参加いただけるよう、内容の充実、集客に努める。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	2	0	4		気軽に相談できる雰囲気づくりに努め、密な関係を築く。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	0	0		送迎時は全職員が保護者対応にあたり、意思の疎通を図る。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	1	0	3		新年度より、児童発達支援専用のブログを作成、更新予定。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19	0	0	0		
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	16	0	1	2		避難訓練や感染症関連の活動を行った日については、単に訓練をしたという旨のみではなく、マニュアルに沿っているということ、送迎時に保護者に伝える。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	0	0	2		避難訓練活動を行った際は、写真を使って保護者へも情報共有を行って、明確な共通理解を図る。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	18	1	0	0		
	23 事業所の支援に満足しているか	18	1	0	0		

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。